

安全作業手順書【遮音壁取替】

可能性(A)	見振りも基準をした危険性の評価			
	重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
○ ほとど起こらない (5年に1回程度)	○ ○ (極めて小さい)	○ △ (かなり小さい)	○ × (中程度)	
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△ ○ (かなり小さい)	△ △ (中程度)	△ × (かなり大きい)	
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	× ○ (中程度)	× △ (かなり大きい)	× × (極めて重大)	

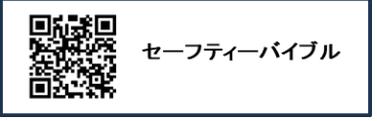
危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
× ×	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△○、○×	中程度	3	何らかの対策が必要 (必ずしも)
△○、○△	かなり小さい	2	視察時では必要なし (必ずしも)
○ ○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC〜春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC〜飛島北IC,有松IC〜上社JCT)
機器工具 ・車両	クレーン車、インパクトレンチ、 橋梁点検車、清掃用具一式	保護具	ヘルメット、保護メガネ、安全チョッキ、 墜落制止用器具、切削作業用手袋、 軍手、皮手袋、安全くつ

作業区分	作業手順・作業内容	急所
準備工	作業の確認 作業の打合せ(KY)を行う 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する 使用機械、工具等の点検を行う しらすだの動作確認及び点検を行う 墜落制止用器具の日常点検を行い記録用紙に記入する	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 作業前に 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする 墜落制止用器具の装着が必要と判断したとき

危険ポイント (〜なので〜になる)		リスクの見振り (A) (B) リスク			安全対策(危険度2以下へ) (私達はこうする)			リスクの再見積り (A) (B) リスク			
手順間違えて思わぬケガをする	免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1	○	○	2
/	/	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する	○	△	2	○	△	2
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
作業中に機械が故障し、思わぬケガをする	電池切れて緊急時、逃げのが遅れる	△	×	4	作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う	○	○	1	○	○	1
電池切れて緊急時、逃げのが遅れる	電池切れて緊急時、逃げのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1	○	○	1
日常点検を怠り、使用時に思わぬ怪我をする	日常点検を怠り、使用時に思わぬ怪我をする	△	×	4	墜落制止用器具を使用するたびに 作業前に日常点検記録用紙に記入し、提出して管理する	○	○	1	○	○	1

調査工	破損状況・ケーブル埋設状況は作業前に事前に調査する	事前調査をする場合は調査手順書に則って
車両確認		
作業車両準備		
作業車両点検		
出発準備		
出発		
規制内進入		
車両移動		
停止		
逸走防止		



調査工手順書に則る											
25.車両回送手順書に則る											

準備工	変形したパネルを抜くときは、下場規制を実施する 車両から必要機械を降ろす 作業場の導線付近に親綱を張り、墜落制止用器具を使用し転落防止を図る 高所作業車を配置する	事前に現地調査を行い ①手袋などを着用して ②手・指が挟まれないにつける。声かけ、合図をして 地上より2m以上の高さがある場合は 高所作業車を使用する際は、手順書に則り	損傷パネルの破片が落下し、 下場の車両や歩行者に飛散する ①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする /	△ △	×	△ 3	現地状況に応じて下場の規制を実施し、 上空監視員を配置する 無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場 から車両に正対して昇降する。飛び降りない。 /	○ ○	○ △	1 2
既設遮音壁 撤去	クレーン等を使用して既設の遮音壁を撤去する	①有資格者を選任して ②変形による跳ねに注意して	クレーンの吊钩が揺れ、作業員や走行車両に接触する /	△	×	4	機械使用時は監視員を設け、ゆっくりと動かしに荷振れ に十分注意して作業を行う /	△	○	2
既設支柱撤去	クレーン等を使用して既設の支柱を撤去する	有資格者を選任して	クレーンの吊钩が揺れ、作業員や走行車両に接触する	△	×	4	機械使用時は監視員を設け、ゆっくりと動かしに荷振れ に十分注意して作業を行う	△	○	2
支柱設置	新しい支柱を設置する	①垂直になるように ②有資格者を選任して	/ クレーンの吊钩が揺れ、作業員や走行車両に接触する	/	/	/	/	/	/	/
遮音壁設置	新しい遮音壁を設置する	有資格者を選任して	クレーンの吊钩が揺れ、作業員や走行車両に接触する	△	×	4	機械使用時は監視員を設け、ゆっくりと動かしに荷振れ に十分注意して作業を行う	△	○	2
発生材片付け	発生材を荷台に積込む	周囲の状況に十分注意して	/	/	/	/	/	/	/	/
仕上げ	発生材や道具を片付ける 清掃道具で場内清掃を行う 場内状況及び清掃状況を確認する	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して 車線側への飛散に十分気を付けて 使用道具や、検測道具など忘れの無いように	片付け作業やクレーン操作作業が重複し 作業員同士や、クレーンとの接触を起こす 掃き掃除やブロー使用の際、走行車に気づかず 清掃物が飛散し、接触する /	△ △	△ △	3 3	職長は必ず場内全体を監視し、 全体の動きを指示しながら片付けを行う 職長は必ず場内全体を監視し、 警笛等を用いて合図をしながらか清掃する /	○ ○	○ ○	1 1

高所作業車手順書に則る											
25.車両回送手順書に則る											

本作業	現場離脱		25.車両回送手順書に則る								
	帰着		25.車両回送手順書に則る								
	後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	

1人作業	原則1人作業はしない。やむを得ず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士つもの範囲内で作業を行う。尚且つもの時の連絡体制を事前に構築しておく。										
特記	パワーゲートを 使用した荷台積 み下ろし	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする 時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライ ドバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、 手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させ る。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を 行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさ まれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、 ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないよう に安全を確保してから昇降させる。	○	○	1
	台車を使用する 場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接 触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から 遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1

25.車両回送手順書に則る											
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--